

平成30年度第2回健康寿命日本一おおいた創造会議（平成31年2月6日開催）

【議事(1) 健康寿命推進月間の取組報告、健康アプリ「おおいた歩得」の運用状況の報告、野菜プロジェクトの報告】

(県健康づくり支援課)

10月の「みんなで伸ばそう健康寿命」推進月間を含む9月から11月の3カ月間に関連イベントについて、575回の開催、150,050人の参加者数で目標15万人の達成を報告した。「おおいた歩得」について利用者の状況、ミッションや抽選等の実施状況を報告した。野菜プロジェクトとして、イベント実施状況、季節の野菜を使ったレシピの作成・配布、クックパッド等でのPRを報告した。

(九州旅客鉄道株式会社)2018年秋の「駅長おすすめのJR九州ウォーキング」より、歩得とのコラボレーションを実施し当社のパンフレットで紹介するとともに、ミッションにして新たな客層の取込を目指す。計9コースに約4,000名の方にご参加いただき、うち532名が歩得のユーザー。おうえん企業からも協賛いただき、地域の賑わいづくりへの貢献、歩得や県内企業との連携により健康づくりに貢献していきたい。

(株式会社オーイーシー)健康経営認定事業所の取組の一環として運動不足解消のため、おおいた歩得の職場対抗戦に9チーム、76名が参加し、結果として1位を獲得できた。歩得がウォーキングを始めるよいきっかけになり、ミッションへの参加の話題で新たなコミュニケーションが広がった。

(全国農業協同組合連合会 大分県本部運営委員会)大分地方卸売市場の市民感謝デーやJR九州久大本線復旧イベントで「1日野菜350グラム」ののぼりを掲げ野菜摂取を呼びかけ、県との連携による促進活動を行った。

(株式会社ローソン)8月31日の野菜の日に合わせ、のぼり、スイングPOP、ポスターを県内全店180店舗で掲げ、野菜を使った商品の種類を広げ量の確保を行うことで、サラダの売上を大きく改善でき、非常に好調な数字で推移している。

【議事(2) 健康寿命延伸にかかる各団体・おうえん企業の取組】

(大分県老人クラブ連合会)高齢者の方に提言をいただく「高齢者の主張」の今年のテーマを「健康寿命を延ばすために」とし、56編の応募があった。老人クラブの活動は、とにかく外に出る、仲間を作る、仲間と一緒にいろいろな行事で活動するので、活動自体が、健康寿命の延伸につながり、地域社会に貢献することになる。

(恩賜財団母子愛育会大分県支部)昭和58年に設立し、6市1町で1,202名の愛育班員が活動している。今年度は、豊後高田市の田染支部と水崎支部の2つの愛育会が誕生し大変喜ばしい。母子から高齢者までの方々に、見守りや声かけ訪問、検診の受診勧奨などの活動を行っている。健康寿命日本一という大きな夢の実現に向け、地域の皆さまと一緒に頑張っていきたい。

(明治安田生命保険相互会社)健康増進を応援する「健活プロジェクト」を始動し、昨年9月におうえん企業に登録した。「歩得」の活用推進、がん検診促進など県の取組を周知するチラシを作成し約320名の営業職員が対面で約1万8,000枚を配布した。事業所向けのセミナーやスポーツイベントの開催など、生命保険業としての新たな価値を提供できると考えている。

(株式会社MASUKO)10店舗の健康体操教室「カーブス」を運営し、メンバー4,000名に対面で、週2～3回の筋力トレーニングを中心とした運動、タンパク質の摂取、「歩得」の活用を推進している。出張健康チェックでは街に出て、筋肉チェックしながら体験していただく。体力年齢や筋肉量などのデータを県とも共有しながら、10年後の大分を見据えて活動していきたい。

(国立大学法人大分大学)大分県信用組合、市町村、大分大学の協働により、専門ドクターが各地に講師として出張し健康増進セミナーに取り組んでいる。

【議事(3) 今後の取組】

(県健康づくり支援課)

改正健康増進法による受動喫煙対策について説明した。

(株式会社大分フットボールクラブ)今シーズンは6年振りのJ1。まちづくり、大学との連携、障がい者スポーツの振興など地域や支援企業の皆さんと新しい価値を創りだし共に成長していくことが不可欠である。3月2日のホーム開幕戦では、おうえん企業の明治安田生命保険相互会社と歩得との連携で、遠くの駐車場利用者により多くのポイントをつけ、健康ブースや選手のサイン入りグッズが当たる抽選会などのイベントを企画し、健康寿命日本一を応援していく。